

第4回 産官3機関合同 建設業職場体験実習 ～ダム現場で建設業の魅力を体感～

- ◆建設業の担い手確保が課題となるなか、学生の皆様に業界への理解を深めていただくため、「第4回 産官3機関合同建設業職場体験実習」を開催しました。
- ◆中部地方整備局、（一社）建設コンサルタント協会中部支部、（一社）日本建設業連合会中部支部の三機関が連携し、公共事業の全体像を学ぶことができる貴重な機会です。
- ◆新丸山ダム建設現場の見学や、三機関の業務説明、若手職員との意見交換・グループワークなどを実施しました。
若手職員との意見交換では学生さんの質問に答え、グループワークでの発表も通じて、業界の魅力発信に繋がりました。

- ◆日 時：令和8年9月15日（火）～17日（木） 3日間
- ◆場 所：愛知建設業会館（1・3日目）
新丸山ダム建設現場（2日目）
- ◆参加者：1日目9名、2・3日目各8名（大学・高専生）
- ◆主 催：中部地整／建コン協会中部支部／日建連中部支部

意見交換（3日目）

学生さん

残業時間はどのくらいですか？

建コン

若手は月20～30時間程度。
働き方改革で労働環境は
改善されています



学生さんからの感想

- 官公庁・ゼネコン・コンサルを同時に知ることができ、業界の違いが明確になった！
- コンサルの話を直接聞け、専門に特化できる魅力を感じた！
- 建コンも働き方改革が進み、環境が良くなっていると分かった。
- 若手職員との意見交換が大変有意義な時間になった！
- 現場の人や参加者と交流できて、貴重な体験になった。

実習プログラムの内容

◆1日目概要説明／3日目グループワーク



1日目は、建設業の仕組みや三機関の各業務等の内容を説明。
3日目の午後は、グループワークで各職種の「良いと感じる点・苦労しそうな点」をまとめ、発表！

◆新丸山ダム現場見学（2日目）



◆事業概要説明・質疑応答（2日目）



2日目は、新丸山ダム工事事務所で事業概要の説明を受け、現場を見学。質疑応答でダム建設への理解を深めました！
3日目の午前は、若手職員と意見交換を行いました！